

千葉市感染症発生動向調査情報

2017年 第46週 (11/13-11/19) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		46週	45週	44週	43週
小児科		18	18	18	18
眼科		4	5	5	5
インフルエンザ*		28	28	28	28
基幹定点		1	1	1	1

上段:患者数

下段:定点当たりの患者数

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉市					千葉県
		注意報	11/13-11/19	11/6-11/12	10/30-11/5	10/23-10/29	11/6-11/12
			46週	45週	44週	43週	45週
小児科	RSウイルス感染症		3 0.17	5 0.28	1 0.06	5 0.28	50 0.37
	咽頭結膜熱		2 0.11	6 0.33	3 0.17	7 0.39	64 0.47
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	53 2.94	36 2.00	29 1.61	25 1.39	392 2.90
	感染性胃腸炎		90 5.00	69 3.83	70 3.89	68 3.78	485 3.59
	水痘		8 0.44	6 0.33	4 0.22	3 0.17	63 0.47
	手足口病		19 1.06	27 1.50	41 2.28	55 3.06	219 1.62
	伝染性紅斑		0 0.00	1 0.06	2 0.11	1 0.06	3 0.02
	突発性発しん		10 0.56	10 0.56	8 0.44	11 0.61	58 0.43
	百日咳		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.06	2 0.01
	ヘルパンギーナ		0 0.00	3 0.17	4 0.22	7 0.39	29 0.21
流行性耳下腺炎		6 0.33	9 0.50	5 0.28	7 0.39	29 0.21	
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)	○	23 0.82	8 0.29	9 0.32	7 0.25	139 0.65
眼科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.03
	流行性角結膜炎	○	5 1.25	4 0.80	4 0.80	5 1.00	13 0.37
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.11
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.22
	マイコプラズマ肺炎		1 1.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	7 0.78
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ○:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(5件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	20歳代	IGRA検査等	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	男性	70歳代	細菌の検出及び薬剤耐性の確認
結核	男性	60歳代	IGRA検査等				
腸管出血性大腸菌感染症	男性	30歳代	病原体の検出及びベロ毒素の確認	梅毒	男性	50歳代	血清抗体の検出
				-	-	-	-

・第46週は、結核2件(189)、腸管出血性大腸菌感染症1件(24)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(16)、梅毒1件(28)の報告があった。

※ ()内は2017年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第46週のコメント

＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞前週より増加し2.94となった。過去10年の同時期と比べると最多。

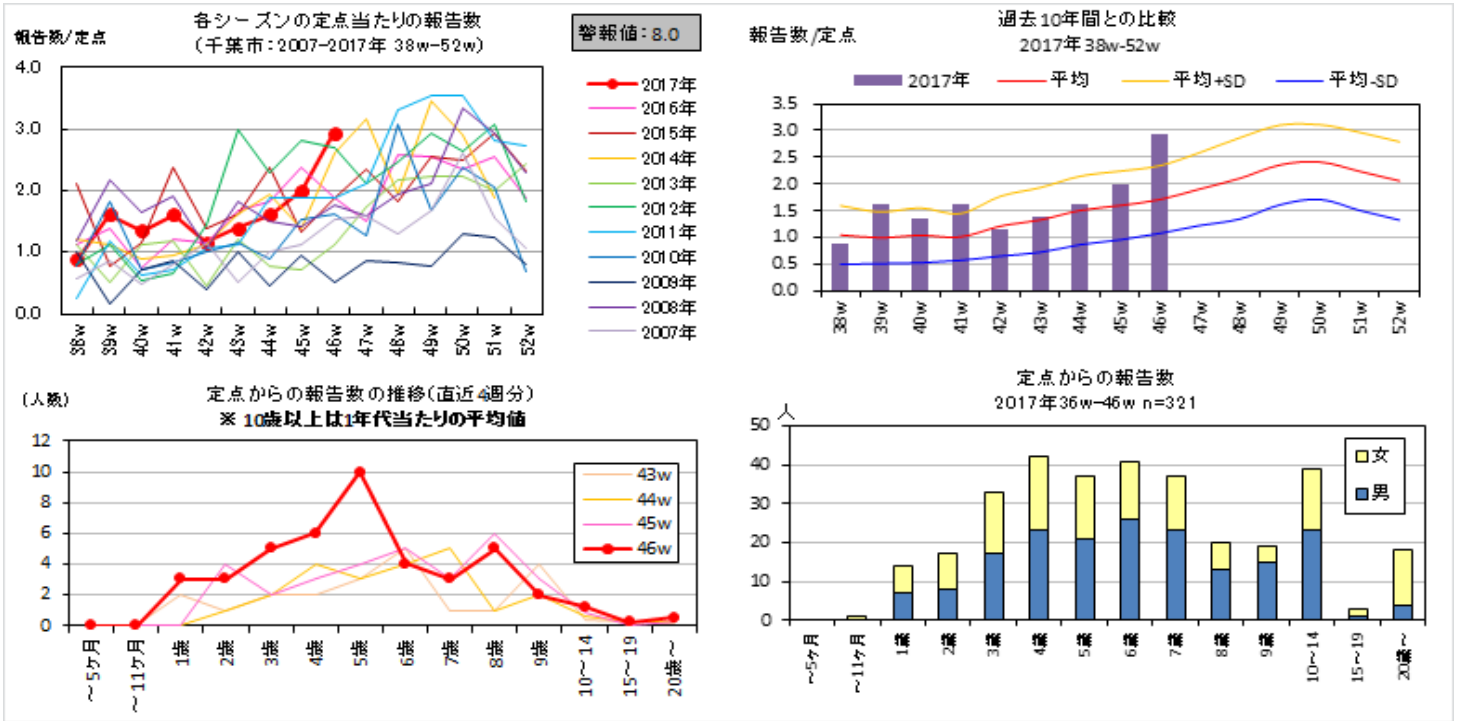
＜流行性角結膜炎＞前週より増加し1.25となった。過去10年の同時期と比べると最多。

＜インフルエンザ＞前週より増加に転じ0.82となった。過去10年の同時期と比べるとやや多め。

■ トピック ■

＜A群溶血性レンサ球菌咽頭炎＞

全国レベルの第45週は、過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では山形県、鳥取県、北海道の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると多くなっています。千葉市の2017年第46週は前週より増加し2.94となり、過去10年の同時期と比べると最多となりました。区別の発生状況は、緑区(7.75/定点)で最多で、同区の一年代あたりでは5歳で最も多く発生報告がありました。今シーズンである2017年第36週から第46週までの累積報告数(n=321)によると、性別では男性が56.4%(181名)、女性が43.6%(140名)で、年齢階級別では4歳(13.1%:42名)、6歳(12.8%:41名)、10歳代前半(12.1%:39名)の順に多くなっています。



＜流行性角結膜炎＞

全国レベルの第45週は過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では宮崎県、鳥取県、山口県の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると少なめとなっています。千葉市の2017年第46週は前週より増加し1.25となり、過去10年の同時期と比べると最多となりました。区別の発生状況は、美浜区(3.00/定点)で最多で、同区の20歳代、40歳代及び50歳代で発生報告がありました。2017年第1週から第46週までの累積報告数(n=157)によると、性別では男性が45.9%(72名)、女性が54.1%(85名)で、年齢階級別では30歳代(25.5%:40名)、40歳代(12.7%:20名)、20歳代(10.8%:17名)の順に多くなっています。

